

NEWS RELEASE

各位

取材依頼

2022年9月30日

**ニッポンハム食の未来財団
2021年度研究助成事業の成果報告会を開催**
開催日:10月11日(火) Web併用形式で開催

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団(事務所:茨城県つくば市、理事長:井手 弘)は10月11日(火)、2021年度に実施した研究助成事業の成果報告会を開催いたします。

本研究助成は、対象領域を「食物アレルギー」に特化しているのが最大の特徴で、根本的な治療や予防法などが確立されていない現状を打開することを目指しています。助成区分として「個人研究助成」と「共同研究助成」の二区を設け、「個人研究助成」は「食物アレルギー」の問題解決にチャレンジする若手研究者の育成を、「共同研究助成」は異分野(例:医学と食品)研究者の協働による「食物アレルギー」の問題解決を狙いとしています。

この度の報告会は、「個人研究助成」はWeb会議形式による質疑応答会を、「共同研究助成」は会場で口頭報告会を実施し同時にWeb配信いたします。当財団では、withコロナ時代においても、本領域の研究者がこれまで同様に異分野や幅広い世代と交流できる場や機会を創出し、研究成果の一日でも早い社会実装を支援して参ります。

開催概要 (詳細は次ページ以降のプログラム参照)**■日時**

2022年10月11日(火)

〈第一部〉個人研究助成 質疑応答会 13時15分～14時30分(受付12時45分～)

〈第二部〉共同研究助成 口頭成果報告会 15時00分～17時10分(受付14時30分～)

■会場

・AP品川アネックス1階 A+B ルーム等(JR品川駅 高輪口 徒歩3分、詳細は4ページ参照)

■報告者

2021年度研究助成事業採択者(個人研究助成;16名、共同研究助成;5名)

■報告方法

・個人研究助成;Web会議形式(研究報告資料のオンデマンド配信+Zoomによる質疑応答会)

・共同研究助成;口頭報告会形式(Web同時配信)

◆公益財団法人ニッポンハム食の未来財団◆

食物アレルギー対策を加速させ、全ての方に「食べる喜び」を感じて欲しいという強い想いから、2015年1月に日本ハム株式会社により設立されました。2017年4月に、公益法人としての認定を受けて活動しています。研究助成事業の他、「食物アレルギー対応食 料理コンテスト」、「栄養士や保育者向けセミナー」、「Webを通じた情報発信」を行っています。

**大変恐縮ですが、当日取材くださる方は、10月7日(金)までに
4ページ目のFAX 返信用紙にてお申込みください。**

※リリースに関する問い合わせ先

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 小泉・織田島まで

TEL 029-893-4466 FAX 029-893-4360

info@miraizaidan.or.jp

プログラム《第一部 個人研究助成 質疑応答会 個人研究 16課題》

時間：13時15分～14時30分（報告者がWeb上で質疑応答を行う時間）

報告者：2021年度研究助成事業 個人研究採択者

開催方法：事前に『研究報告資料（音声付きパワーポイント資料）』をオンデマンド配信し、当日（10月11日）はZoom上で質疑応答会を実施いたします。

参加方法：取材を申し込みいただいた方に、視聴に必要な情報をお送りいたします。

当日はPCから質疑応答会（Zoom）にご参加ください（会場内にWi-Fi環境あり）。

時間	氏名	所属機関	課題名
13:15 ～ 13:30	赤川翔平	関西医科大学医学部 小児科学講座 助教	小児の食物アレルギーと腸内細菌叢の関連
	伊沢久未	順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター 助教	脂質を認識するペア型免疫受容体による食物アレルギーの病態制御機序の解明と予防・治療法開発
	市 育代	お茶の水女子大学基幹研究院 准教授	高度不飽和脂肪酸欠乏による食物アレルギー応答の制御変化と機序の解明
	川本典生	岐阜大学医学部附属病院 小児科 講師	食物アレルギー診断技術向上と抗原改変食品作成を目標としたIgEの構造エピトープ・線形エピトープの解析
13:35 ～ 13:50	清水 裕	北海道大学大学院水産科学研究院 技術専門職員	甲殻類アレルゲンの消化性と消化管吸収動態に及ぼすメイラード反応の影響
	高里良宏	あいち小児保健医療総合センター 医長	固形物による食物誘発性胃腸症（FPIES）の機序解明
	田中孝之	京都大学大学院医学研究科 客員研究員	鶏卵アレルギー小児の長期的観察による食物アレルギー寛容誘導機序の解明
	田中志典	東北大学 助教	食物アレルギーに対する舌下免疫療法の効果増強法の開発
13:55 ～ 14:10	中野泰至	千葉大学医学部附属病院 小児科 助教	乳児期のビタミンD投与によるアレルギー予防に関する研究開発
	西 甲介	国立大学法人愛媛大学 准教授	魚油由来脂肪酸による食物アレルギー予防効果の実証と、そのメカニズムの解明
	野村孝泰	名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学 助教	胃食堂逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明
	藤田真弓	神奈川県立こども医療センター アレルギー科 シニアレジデント	ピーナッツ経口免疫療法の維持期における最適な維持方法の探索
14:15 ～ 14:30	森田英明	国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 室長	重症消化管アレルギーの病態解明
	横田雅也	千葉大学医学部附属病院 総合医療教育研修センター 特任助教	食物抗原に対する経口免疫寛容の誘導における腸管常在好酸球の役割の解明
	鵜川真実	摂南大学 特任助教	膜透過ペプチドを側鎖に持つ高分子のアレルギー根治療法への展開
	山下弘高	琉球大学医学研究科 薬理学講座 准教授	食物アレルギーにおける経皮感作と経口免疫寛容のバランスの解明

時 間：15時00分～17時10分

場 所：AP品川アネックス 1階 A+B ルーム

報 告 者：2021年度研究助成事業 共同研究採択者

参加方法：会場にて口頭報告を聴講ください。

15 : 00 開会挨拶

15 : 05～15 : 25 食物アレルギーにおける免疫記憶の機序解明およびその制御法の開発

安達 貴弘
東京医科歯科大学 難治疾患研究所 未病制御学 准教授

15 : 25～15 : 45 鶏卵アレルギー児に対する経口免疫寛容を誘導するための安全性の高い摂取法の開発
- ランダム化比較試験

大矢 幸弘
国立成育医療研究センター アレルギーセンター センター長

15 : 45～16 : 05 Amplified Luminescence Proximity Homogeneous Assay (ALPHA)法を用いた食物アレルギーの新規検査法の開発

松尾 裕彰
国立大学法人 広島大学 病院薬剤部 教授

16 : 05～16 : 20 (休憩15分)

16 : 20～16 : 40 食物に対する経消化管感作の機序、特にIL-25の役割の解明

松本 健治
国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 部長

16 : 40～17 : 00 「花粉症関連食物アレルギー症候群」における原因抗原のエピトープ構造解析と低アレルギー化食品の開発基盤

丸山 伸之
京都大学大学院農学研究科 教授

17 : 00 閉会挨拶

17 : 05 写真撮影

【報告資料（両部共通）のWeb公開】

https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2020/02_event.html

※9月30日（金）10時より報告要旨を公開いたします。



FAX 029-893-4360

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 行き
(問い合わせ先 TEL:029-893-4466)

2021年度研究助成事業 成果報告会

日時:2022年10月11日(火)(受付12:45～; 1階 A+B ルーム前までお越しください。)

場所:AP品川アネックス(下図参照)

《第一部》 個人研究 質疑応答会

13:15～ 1階 Dルーム

いずれかに○印をお願いいたします。

ご出席 / ご欠席

《第二部》 共同研究 口頭成果報告会

15:00～ 1階 A+Bルーム

いずれかに○印をお願いいたします。

ご出席 / ご欠席

貴社名	
貴部署名	
お名前	
電話番号 / FAX番号	/
E-mail	
備考(撮影の有無)(注)	

(注1) 報告内容、データに関する写真撮影及び動画撮影は、固く禁止させていただきます。

(注2) 写真撮影は、15時00分の「開会挨拶」と17時05分から予定している「写真撮影」時の集合写真(共同研究報告者 及び 当財団関係者)に限らせていただきます。

会場案内図



【所在地・電話番号】

〒108-0074

東京都港区高輪3丁目23-17

品川センタービルディング1階・地下1階

Tel:03-5798-3109

Fax:03-5475-8109

※「高輪口」から右手方向に約3分です

【交通アクセス】

東海道新幹線・JR東海道線・JR山手線・JR京浜東北線・JR横須賀線・京浜急行線をご利用の場合

「品川駅」より徒歩3分

※羽田空港からは京浜急行快特で品川駅まで16分